

中学生の「税についての作文」

大川税務署管内納税貯蓄組合連合会 会長賞

「生活を豊かにしてくれる税金」

大川市立大川桐英中学校

三年 鐘ヶ江 苺花

最近、「SDGs」という言葉をよく耳にします。貧困、紛争、気候変動、感染症。人類はこれまでになかったような数多くの課題に直面しています。

「このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなる」と心配され、そんな危機感から世界中のさまざまな立場の人々が話し合って二〇三〇年までに達成しようとする目標を立てたもの、それが「SDGs」です。現在は一九七か国が参加し、二〇一六年から二〇三〇年の十五年間で達成するための十七の項目の目標があります。各国、企業などの各種団体、地方自治体、教育機関、市民社会、そして各個人のすべてがこの目標を共有してそれぞれの立場から取り組んでいく活動です。

その中で私が注目したのは、十二項目に「つくる責任、つかう責任」に当たるゴミ問題です。ゴミは、気候変動等の地球環境にも関わり、とても身近なもので一人一人ができる事です。それに、ゴミは税金にも関わっています。税金の主な用途に、「ゴミの収集」があります。ゴミ処理だけで年間二兆円を超える税金が使われているそうです。

身近なところでエコバッグやフードロス、リサイクル等の取り組みをよく耳にします。捨てればゴミ、分ければ資源になります。今まで燃えるゴミで出していたゴミを分別してリサイクルにまわしたり、買い物をする時はエコバッグを忘れないようにしてプラスチックゴミを減らしたり、ちよつとした当たり前の簡単な事からできます。

一人一人がゴミを減らせば、税金の使い道も変えることができるのではないかと思います。使い道が変われば、もっと医療が充実するかもしれない、もっと貧困がなくなるかもしれない、日本だけでなく世界を変えられるかもしれません。「SDGs」の他の項目にも貢献できると思います。

私は、税金を通して未来がもっと安心、安全に健康で豊かな生活を送ることができるように、しっかりと納税の義務を果たし、社会に貢献できる大人になりたいと思います。

